

味方玄さん・氷川まりこさん 【能と日本の美意識・人生観】



講師

能役者 観世流シテ方

味方 玄 Shizuka Mikata

伝統芸能ジャーナリスト

氷川 まりこ Mariko Hikawa

日本独特の感性や人生観を見つめ、自分自身を探る

能には、現代に通じる日本独特の死生観や美意識が詰まっています。極限までそぎ落とされた表現は、一見ただけではわかりにくいと思われがちですが、抽象であるがゆえに、自身の心に照らし紐解いていくと、汲めども尽きない泉のような世界が広がっていきます。私たちは、なぜ儂いものに心惹かれるのか、なぜ老いの先に何かがあると思うのか——。

本講座では、能の大成者として知られる世阿弥の思考と作品に焦点

をあて、能という芸能を心身を通して探り、その根底にある日本独特の感性や人生観とはいかなるものかを見つめていきます。それは同時に、自分自身とは何かをあたためて見つめる時間になることでしょう。

味方 玄 氷川 まりこ

4/18 月

第1回

18:30～21:30

世阿弥の発想力

能のルーツは奈良時代にまでさかのぼります。それを、室町時代に登場した世阿弥が「夢幻能」というスタイルを創り出し、現代の能のスタイルの原型を確立しました。大衆芸能だった能を、世阿弥はいかにして芸術の域にまで高めていったのか。その人生をたどり、能という芸能の本質を考えます。

6/20 月

第4回

18:30～21:30

能面の美と効果

能の面や装束は、舞台で使われる実用品でありながら、日本の手仕事の技が駆使された美術品でもあります。その繊細な美を手に取り、「着付の実演」も見学し、面や装束が観客と能楽師自身にもたらす効果について考えます。

5/9 月

第2回

18:30～21:30

「秘すれば花」

世阿弥が著した『風姿花伝』は、父・観阿弥から受け継いだノウハウを世阿弥自身の経験を踏まえてまとめた芸論です。子どもをどのように育てるか、ライバルにどう立ち向かうか、一流の条件とは——。彼が実践した数々の戦略は、現代社会でも通用する真理にあふれています。『風姿花伝』の「名言」を正しく解釈し、強く生きる智慧と技術を学びます。

7/9 土

第5回

14:00～17:00

世阿弥 作 『山姥 雪月花之舞』鑑賞

味方師がシテ(主役)を演じる能『山姥』を、水道橋の宝生能楽堂で鑑賞します。作品のあらすじや背景、謡の言葉についての知識をもって舞台を観ることで、能独特の世界をより深く感じとり、作品を理解できることを実感します。

5/31 火

第3回

18:30～21:30

日本の自然観、人生観

和歌や古典、仏教用語などが巧みに読み込まれた詞章(能の台本)には、日本語の美しさが凝縮された文学作品としての魅力があります。世阿弥作の能『山姥』の詞章を読み解き、日本人が古来持ち続けてきた自然観や人生観について思いをめぐらせます。

8/4 木

第6回

18:20～21:20

能舞台の体感

千駄ヶ谷の国立能楽堂を訪ね、研修能舞台のバックステージツアーを行います。白足袋で実際に舞台上がり、能の空間感覚を体感することで、感覚としての能への理解を深めます。その後、国立能楽堂企画公演【狂言『仏師』小笠原匡(和泉流)、能『通小町』山階彌右衛門(観世流)】を鑑賞します。

触れて、観て、体感する能

本講座では知識として能を学ぶだけでなく、身体と五感を使って感じる能をめざし、触れる、動く、観るといった体感も重視した構成となっています。

第1回～第4回は、後半の1時間に謡と足の運びなどのワークショップを行います。第6回は、バックステージツアー付き公演鑑賞を行い、国立能楽堂の研修能舞台へ上がって能の空間感覚を体感します。

開 催 概 要

日 程	2016年 4/18(月)、5/9(月)、5/31(火)、 6/20(月)、7/9(土)、8/4(木)
回 数	6回
時 間	第1～4回 18:30-21:30 (3時間) 第5回 14:00-17:00 (3時間) 第6回 18:20-21:20 (3時間)
定 員	20名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス 宝生能楽堂(第5回)、国立能楽堂(第6回)
参加費	108,000円(消費税8%込)
お勧め したい方	・能を通して日本の美意識や人生観について理解を 深めたい方 ・能をレクチャーと体感で学びたい方 ・初めて能を学ぶ方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

味方 玄(みかた しずか)

能役者。観世流シテ方。1966年京都府生まれ。京都在住。父・味方健、故・片山幽雪(人間国宝)に師事。品格のある存在感と表現力で定評がある。1996年より自身で企画・上演する公演「テアトル・ノウ」を主催。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。著書に『能へのいざないー能役者が伝える能のみかた』(淡交社)。

氷川まりこ(ひかわ まりこ)

伝統芸能ジャーナリスト。1963年東京生まれ。能楽をはじめ、茶、禅、花、香などの東山文化を中心に伝統芸能・伝統文化を専門として書籍や記事を手掛ける。著書に『能の新世紀』(小学館)ほか。

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(『夕学五十講』を除く。)

◆20%割引:108,000円(税込)以上の、『agora』および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合

◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合

【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)

過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

『agora』およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(『夕学五十講』を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2

三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111

E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。存じます。

ご不要の方は右記にチェックをお願いします。